



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター



洗濯ネットを使う意味とは？

洗濯ネットを使う目的は「デリケートな衣類を守る」ためだけではないことを知っていますか？どんなメリットがあるのか覚えておくと、お気に入りの衣類を長持ちさせることができます。

◆メリット1. 生地傷み、型崩れから衣類を守る◆

衣類をネットに入れて洗うと摩擦や刺激が少なくなるので、生地が傷みにくなります。摩擦が少ないということは、毛玉の発生も抑制できるということです。また、衣類同士の絡まりを防ぐことができるため、型崩れ防止にも役立ちます。



◆メリット2. 糸くずの付着を防ぐ◆

タオルと衣類を一緒に洗うと、衣類に細かな糸くずが付いてしまうことがあります。糸くずが目立ちやすい黒っぽい衣類は、洗濯ネットに入れて洗うとよいでしょう。

◆メリット3. 色移りを防ぐ◆

濡れた衣類同士が重なり合った状態が長くなると、色移りのリスクが高くなります。色落ちしやすい色物衣類をネットに入れておけば、直接ほかの衣類に触れることがないため、色移りを防ぐことができます。(※デニムなどの染め物や色の濃い衣類は、分けて洗いましょう)

このようにメリットがたくさんある反面、汚れが落ちにくくなるというデメリットも。ネットに入った状態では水流や洗剤が届きにくいからです。心配な場合は軽く予洗いをし、汚れた部分を外側にしてネットに入れるとよいでしょう。水流や洗剤が入りやすいよう、網目の粗いネットを使うのもおすすめです。使い終わったネットはしっかり乾かし、大きさや種類ごとに分けておくと、次に使う時にスムーズに選べます。小さなかごに入れたり、フックに引っ掛けておいたり、家事動線に合わせて使いやすい方法で収納しておきましょう。

洗濯ネットの種類

・**平型**/中に入れた衣類が動きにくいので、シワになりやすい衣類向き。豊んだ衣類の大きさに合うサイズを選ぶのがポイント。

・**立体**(筒型・丸形)/中で衣類がよく動くので、水流や洗剤がよく届き、汚れが落ちやすい。シワになりにくい衣類、汚れをしっかりと落としたい衣類向き。

・**網目が細かい**/デリケートなもの、装飾のついたもの、下着などに。クッション性があるタイプだと、さらに生地を守ります。

・**網目が粗い**/型崩れを防ぎながらしっかり洗いたいTシャツなどに。



こうしてほしい / 気になることは、声に出して…

クリーニングに出す時に、しっかり要望を伝えてありますか？“汗汚れ”や“におい”などの目に見えないもの、仕上げ方の細かいこだわりなどは、言われないと気がつかないことも。私たちの方からも声をかけてコミュニケーションを取るようにしていますが、「汗をかいているからしっかり手入れしてほしい」「風合いをいかして仕上げしてほしい」など、要望がある場合は預ける時に声をかけてください。体調が悪く病院を受診するとき、今の状態や困っていること、どうしてほしいのかを伝えて、診察・治療をしてもらいますよね？クリーニングのオーダーもそれと同じことだと考えてみてください。特にこれからの時期は夏物をしまうためにクリーニングに出す方が多くなると思いますが、汗の手入れが必要な場合は、ぜひ一言伝えて(またはメモを付けて)いただけるとうれしいです。

ハロウィンじゃんけん

10/27~10/31

今年もやります！大人も子供も盛り上がる、毎年恒例のイベント。ぜひ参加してくださいね〜♪



営業案内 (赤い日はお休みです)

10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

★10月21日(土)は都合によりお休みです

※お休みや営業時間に変更になることがあります

セミオーダーエプロンと雑貨

atelier blanc
アトリエ・ブラン



おしらせ))

紺新の店頭にて『アトリエ・ブラン』の小さな雑貨コーナーが登場！ポーチやティッシュカバー・コースター・鍋つかみなど、リネンの手作り雑貨を並べています。人気のヘアターバンは、色・サイズ・ゴム幅など希望に合わせてセミオーダーも可能。雑貨のみの来店も大歓迎です♪